

「旅の安全の日」危機管理 模擬訓練 実施概要

(国内・訪日・海外共通)

1. 実施目的

- ① 旅行業界における「安心安全」への意識高揚
- ② 旅行安全マネジメントの緊急体制の確認と訓練
- ③ 旅行保険加入促進

2. エントリー制について

- ① 基本は7/3(月)に同時実施とする。
 - ② 社内事情により7/3に実施困難な場合は、7月及び他月の実施予定日を報告
 - ③ 自社で定期的に模擬訓練を実施していて、加重実施が不可能な場合はその旨を報告。
 - ④ エントリーにおいては、各社取扱に応じ、国内・訪日・海外の3部門別に各社参加部門を選択
- ※ 他月に実施の会社についても、集約・報告を頂く。

3. 緊急連絡体制の確認について

- ① 緊急連絡体制は、事故発生を想定し、必ず一巡させる。
- ② 番号が変更されていないか、常時電源が入っているかを確認し、必要に応じ修正する。
- ③ 緊急連絡体制一巡に要した時間、対象とされる社員数を報告
- ④ 国内旅行・海外旅行・訪日旅行の緊急連絡体制が別の場合は、体制ごとに報告。

4. 集約概要

- ① 旅行業種 全旅行業種
- ② 旅行形態 募集型企画旅行・受注型企画旅行・手配旅行は任意
- ③ シュミレーション 場所は特定せず、
『緊急事態(大地震・テロ・バス事故等)が発生し人身に関わる被害
が出ている状況』のみ統一とする。
(別途シュミレーション設定の要望がある場合は、個別にご相談下さい)
- ④ 対象都市 国内・海外の各社任意の場所を1箇所以上選定。
- ⑤ 確認内容 滞在者数のみ報告か、安否確認まで行うかは各社の裁量とする。

5. 模擬訓練実施後について

訓練実施後は、人数報告だけでなく、各社で検証した課題や問題点をまとめ、現状の安全管理体制や次回の模擬訓練に活かしていきます。

また訓練参加会社は、JATAホームページに掲載予定です。

6. スケジュール

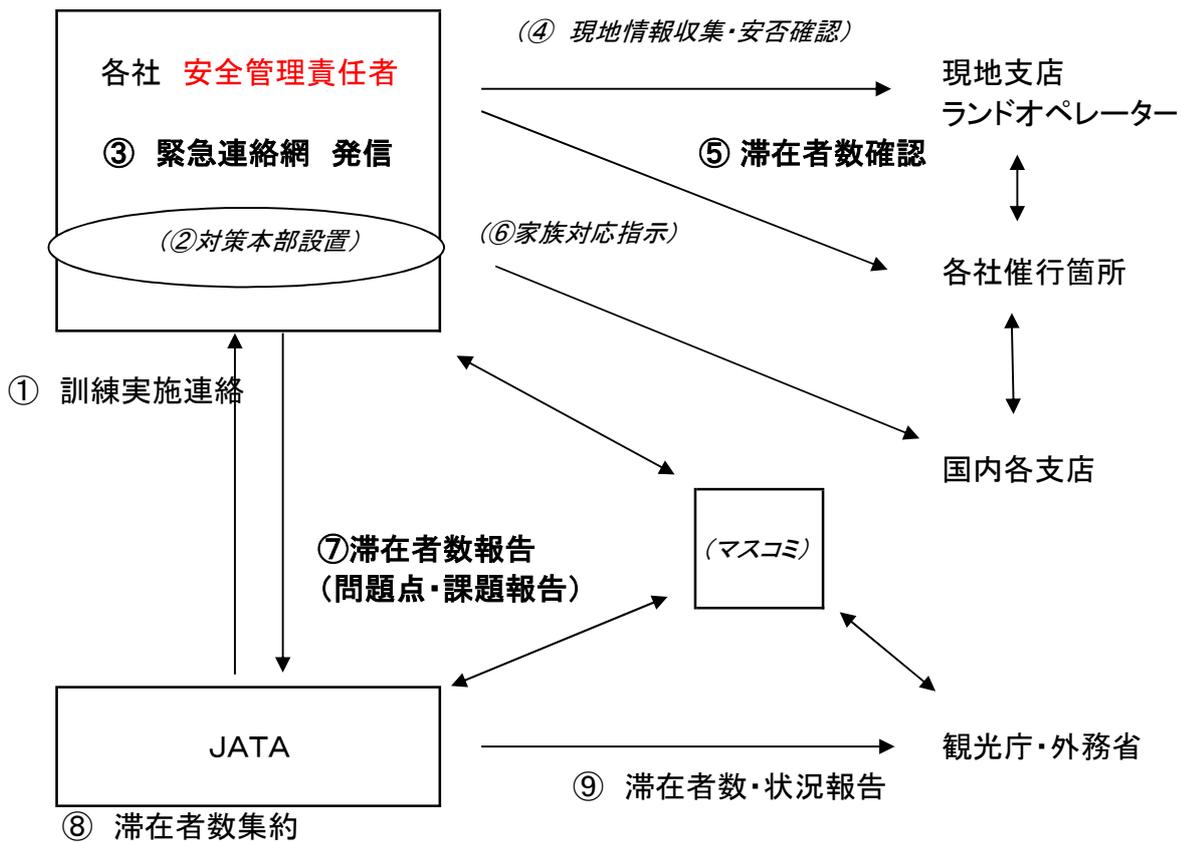
- 5月 『旅の安全の日』模擬訓練アンケート・エントリーシートにおいて、
国内・訪日・海外の3部門にてエントリーを集約(締め切り5/31)。 訓練概要案内。
- 6月 エントリーした会社に対し、実施要綱を案内。
- 7月 模擬訓練実施
- 実施後 課題・問題点 集約検証

7. 危機管理訓練フロー(7/3当日)と実施内容

<実施内容の要否>

	実施内容	必ず実施	任意実施	JATA
①	当日朝、JATAより訓練実施案内			○
②	各社にて対策本部設置		○	
③	緊急連絡網 発信	◎		
④	現地情報収集・安否確認		○	
⑤	滞在者数確認	◎		
⑥	取扱支店へ家族対応指示			
⑦	滞在者数報告(問題点・課題報告)	◎		
⑧	滞在者数集約(問題点・課題集約)			○
⑨	JATAより観光庁・外務省へ報告			○

不要



添付:「旅の安全の日」模擬訓練 報告シート(案)